

	<p style="text-align: center;">23区初</p> <p style="text-align: center;">国産 SAF の大規模製造・供給等を行う事業者3者と使用済み食用油の資源化促進に関する協定を締結しました</p> <p style="text-align: center;">～脱炭素社会の実現に向けて「使用済み食用油の SAF への資源化」の取組を推進～</p>
<p>と き</p>	<p>3月24日（火）</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区役所（豊玉北 6-12-1）</p>
<p>24日、区は、日揮ホールディングス株式会社、株式会社レポインターナショナルおよび合同会社SAFFAIRE SKY ENERGYと、23区で初となる「持続可能な社会の構築に向けた使用済み食用油の資源化促進に係る連携および協力に関する協定」を締結しました。</p> <p>協定に基づき、4月から、区が回収する家庭や区立小中学校等から排出される使用済み食用油を全量、持続可能な航空燃料（SAF）に資源化します。</p> <p>あわせて、区は、民間企業や自治体などによるSAFの導入促進に向けた取組である「Fry to Fly Project」に参画します。</p> <p>前川区長は「使用済み食用油のSAFへの資源化に、区としても引き続き協力していきたい。」と話しました。</p>	



▲協定式の様子

（左から日揮 HD の秋鹿正敬専務執行役員、レポインターナショナルの栗山博明次長、練馬区の前川耀男区長、SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者）

【協定の主な内容】

- ① 使用済み食用油の回収に関すること
- ② 使用済み食用油を用いたSAFの製造に関すること
- ③ 区民および事業者向けの情報発信、普及啓発、学習機会の提供に関すること
- ④ その他、本協定の目的を実現するために必要なこと

【協定締結事業者】

事業者	主な役割
日揮ホールディング株式会社	SAFや資源循環の重要性の発信の主導、区と事業者間の調整

株式会社レポインターナショナル	区が回収した使用済み食用油の引取り、SAF製造施設への運搬
合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY※	搬入された使用済み食用油を原料としてSAFを製造

※ 日揮ホールディングス株式会社、株式会社レポインターナショナル、コスモ石油株式会社の3社がSAFの製造や供給事業を行うために設立

【区の使用済み食用油の資源化の取組】

現在、区立施設等46か所で、家庭から排出される使用済み食用油を月1回（練馬区資源循環センターは週1回）回収している。また、区立保育園と福祉園の計61園から排出される使用済み食用油を回収している。これらをインク等の原料に資源化している。

この取組に加え、昨年5月から区民の利便性向上を図るため、区内2か所に回収ボックスを常設し、SAFに資源化する実証実験を行っている。

【今後の取組】

令和8年4月から、家庭から排出される使用済み油の常設回収場所を2か所から7か所に増設する。各小中学校等の区立施設から排出される使用済み食用油も含め、区が回収する使用済み食用油を全量SAFに資源化する。

あわせて、民間企業や自治体などによるSAFの導入促進に向けた取組である「Fry to Fly Project」に参画する。

また、本協定に基づいて、区主催のイベントや小学校等の環境教育で、SAFや資源循環に関する普及啓発に取り組み、区民の環境意識および行動変容につなげ、脱炭素社会の実現を目指す。

【問合せ】

練馬区 清掃リサイクル課 リサイクル推進係

電話 03-5984-1097